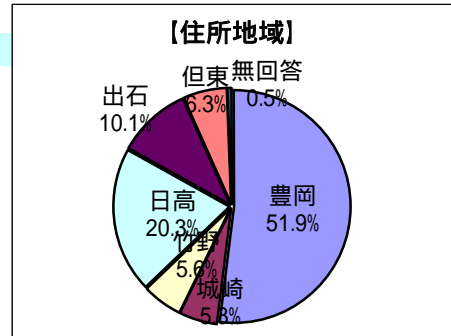


広報アンケートの実施結果について

実施期間 平成20年 9月3日～16日
 対象 無作為抽出した市内の世帯主1,600人（家族の誰が回答しても可）
 回答者数 753人
 回答率 47.1%

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。

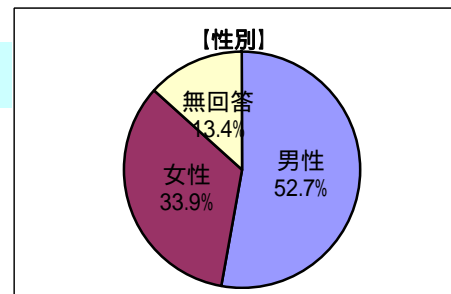
| 選択項目 | 回答数 |
|------|-----|
| 豊岡 | 391 |
| 城崎 | 40 |
| 竹野 | 42 |
| 日高 | 153 |
| 出石 | 76 |
| 但東 | 47 |
| 無回答 | 4 |
| 合計 | 753 |



問2 あなたの性別・年代をお聞きます。

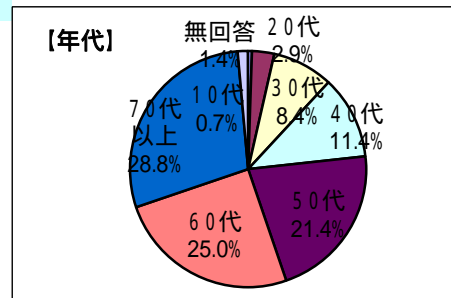
(1) 性別

| 選択項目 | 回答数 |
|------|-----|
| 男性 | 397 |
| 女性 | 255 |
| 無回答 | 101 |
| 合計 | 753 |



(2) 年代

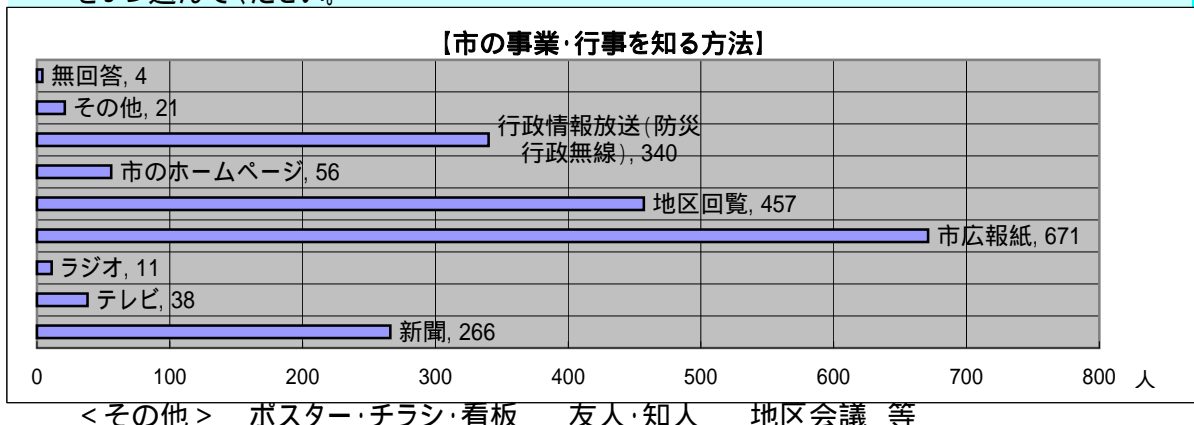
| 選択項目 | 回答数 |
|-------|-----|
| 10代 | 5 |
| 20代 | 22 |
| 30代 | 63 |
| 40代 | 86 |
| 50代 | 161 |
| 60代 | 188 |
| 70代以上 | 217 |
| 無回答 | 11 |
| 合計 | 753 |



【問1、2 結果のまとめ 回答者の属性】

広報アンケートの回答者の住所地域は豊岡地域が約半数で、回答者は男性と女性の比率が約3：2になっており、70代以上28.8%、60代25%と高齢者の回答が多い。

問3 あなたは、市の事業や行事などを主にどのような方法でお知りになりますか。該当するものを3つ選んでください。



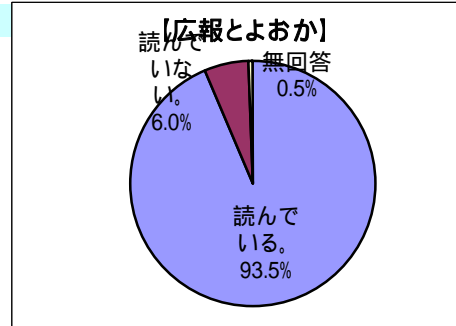
【問3 結果のまとめ】

市の事業・行事を知る方法の上位3は、市広報紙が671人（回答者の89.1%）、地区回覧457人（回答者の60.7%）、行政情報放送340人（回答者の45.2%）となっており、市の情報提供は市広報紙が最も大きな役割を担っている。

「広報とよおか」についてお尋ねします

問4 あなたは、「広報とよおか」を読んでいますか。

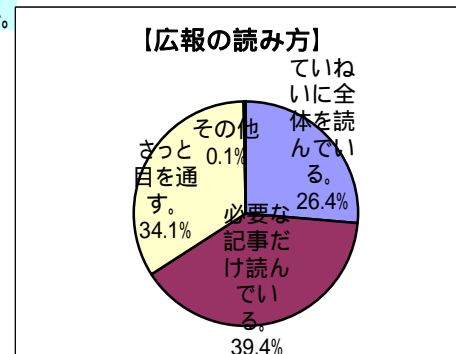
| 選択項目 | 回答数 |
|---------|-----|
| 読んでいる。 | 704 |
| 読んでいない。 | 45 |
| 無回答 | 4 |
| 合計 | 753 |



問4で読んでいると答えた方にお尋ねします。

問5 あなたは、「広報とよおか」をどの程度読んでいますか。

| 選択項目 | 回答数 |
|----------------|-----|
| ていねいに全体を読んでいる。 | 186 |
| 必要な記事だけ読んでいる。 | 277 |
| さっと目を通す。 | 240 |
| その他 | 1 |
| 合計 | 704 |

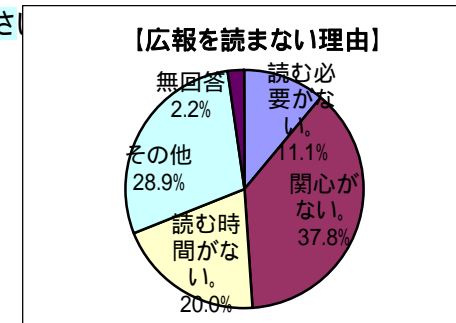


問4で読んでいないと答えた方にお尋ねします。

問6 あなたが「広報とよおか」を読まない理由を教えてください。

| 選択項目 | 回答数 |
|----------|-----|
| 読む必要がない。 | 5 |
| 関心がない。 | 17 |
| 読む時間がない。 | 9 |
| その他 | 13 |
| 無回答 | 1 |
| 合計 | 45 |

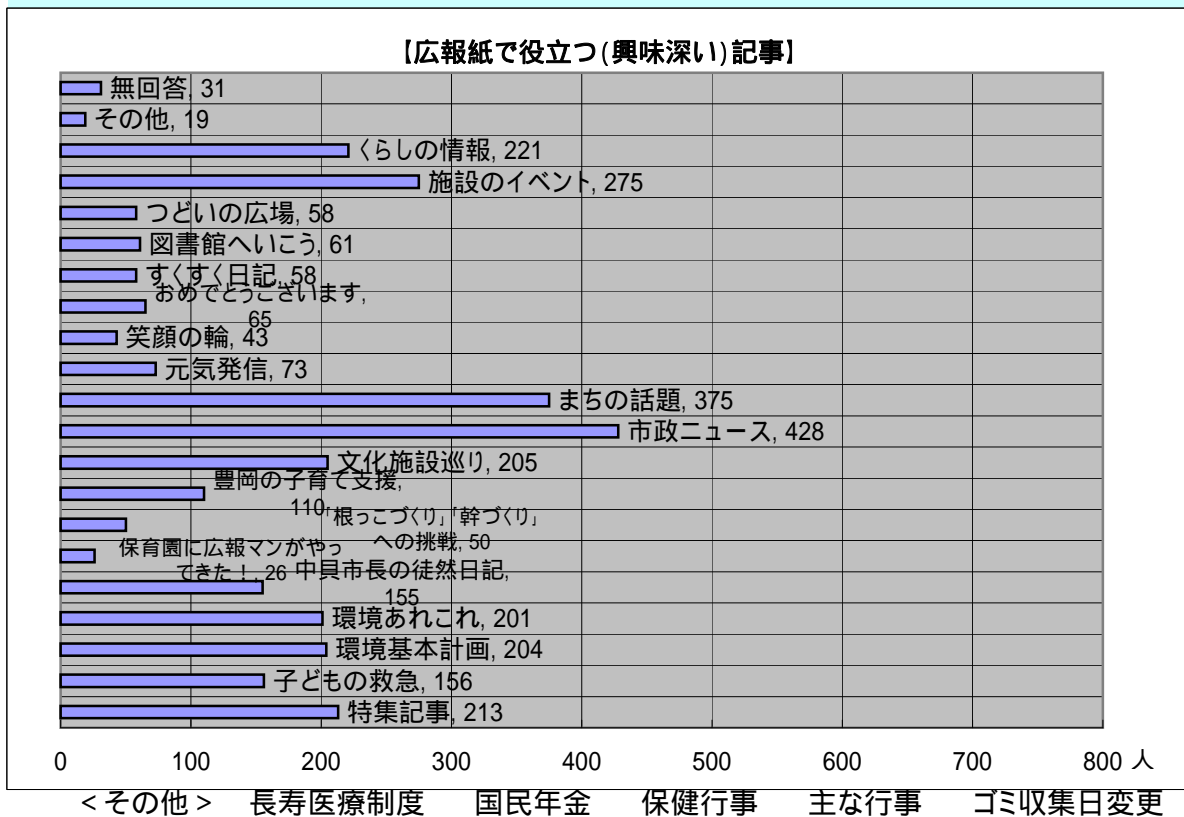
<その他> 内容が多すぎる 読む気がしない
 広報が届かない



【問4、5、6 結果のまとめ】

回答者の約94%が市広報紙を読み、その内約26%はていねいに全体を読んでいるが、残りは必要な記事だけ読んだり、さっと目を通す読み方になっている。よって、より必要とされる記事を掲載すること、さっと見るだけでも内容が想定できる広報紙づくりに心がける。また、広報紙を読まない理由に「関心がない」、「内容が多すぎる」という理由もあるので、役立つ情報をより精査する。

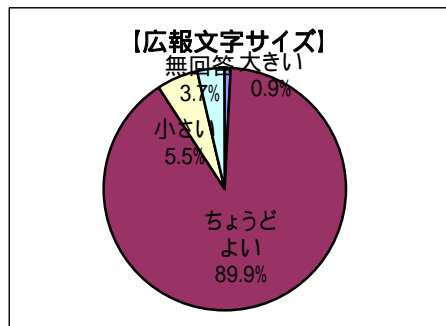
問7 あなたが、「広報とよおか」の掲載記事で、役立つ(興味深い)記事はどれですか。(~ の該当するものすべてに をつけてください)



【問7 結果のまとめ】
 市広報紙掲載の役立つ(興味深い)記事の第1位は「市政ニュース(回答者の56.8%)」であり、次いで6地域(旧1市5町)単位で掲載している「まちの話題(回答者の49.8%)」になっている。その他、「施設イベント」やお知らせを掲載する「暮らしの情報」、市の文化施設紹介や環境関連記事、特集記事の掲載も関心が高く、医療・年金・ゴミなどの生活に密着した記事も役立つと回答している。
 この結果を踏まえ、シリーズやコーナーの見直しなどを行い、新年度から市広報記事構成を再考する。

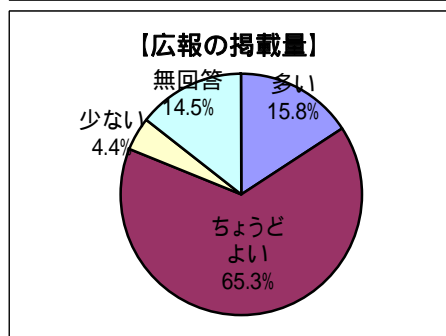
問8 「広報とよおか」の文字・掲載についてお聞きます。
 (1) 文字の大きさ

| 選択項目 | 回答数 |
|--------|-----|
| 大きい | 6 |
| ちょうどよい | 633 |
| 小さい | 39 |
| 無回答 | 26 |
| 合計 | 704 |



(2) 掲載量

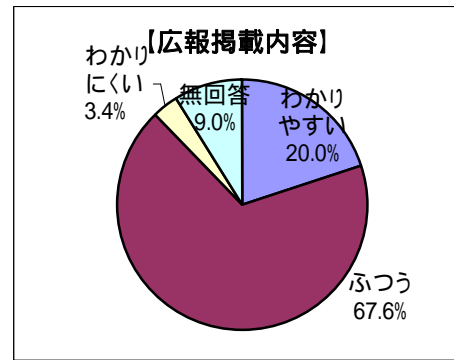
| 選択項目 | 回答数 |
|--------|-----|
| 多い | 111 |
| ちょうどよい | 460 |
| 少ない | 31 |
| 無回答 | 102 |
| 合計 | 704 |



(3) 掲載内容

| 選択項目 | 回答数 |
|--------|-----|
| わかりやすい | 141 |
| ふつう | 476 |
| わかりにくい | 24 |
| 無回答 | 63 |
| 合計 | 704 |

<わかりにくい理由>
 専門用語がわかりにくい 内容が多岐

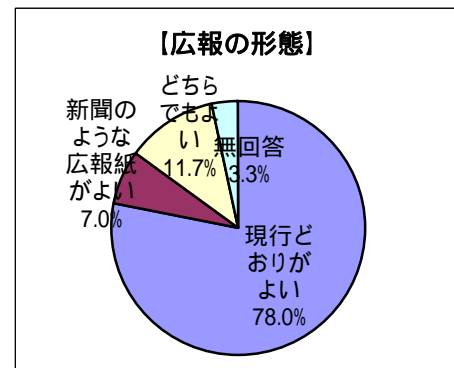


【問8 結果のまとめ】

平成19年から少し大きくした市広報紙の文字の大きさは、「ちょうどよい」と回答した人が約90%で、掲載量も「ちょうどよい」が約65%、内容は「ふつう」が約65%、わかりやすいと答えた人は約16%である。文字の大きさ、掲載量、内容はおおむね現行どおりで良いと思われるが、できるだけわかりやすい言葉や表現を使うなど、より良い市広報紙づくりに努める。

「広報とよおか」は冊子状(A4判)ですが、ミニ
 問9 新聞のような広報紙(新聞半分の大きさ)とどちらがよいでしょうか。

| 選択項目 | 回答数 |
|--------------|-----|
| 現行どおりがよい | 587 |
| 新聞のような広報紙がよい | 53 |
| どちらでもよい | 88 |
| 無回答 | 25 |
| 合計 | 753 |

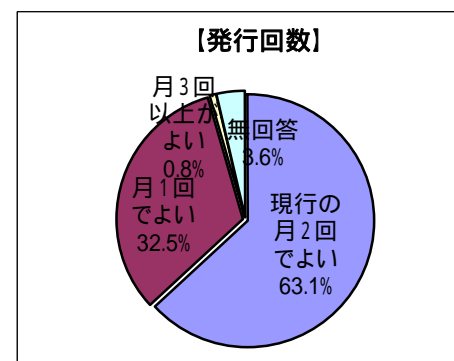


【問9 結果のまとめ】

市広報紙は、78%の人が冊子状が良いと答えているので、現行どおりとする。

「広報とよおか」は、月1回の発行では新鮮な
 問10 情報をお届けできないため、月2回(うち1回はお知らせ版)発行していますが、その発行回数についてお聞きします。

| 選択項目 | 回答数 |
|-----------|-----|
| 現行の月2回でよい | 475 |
| 月1回でよい | 245 |
| 月3回以上がよい | 6 |
| 無回答 | 27 |
| 合計 | 753 |



【問10 結果のまとめ】

市広報紙の発行回数は、「現行の月2回でよい」が約63%を占め、その半数の約33%が月1回の発行でよいと回答している。月2回が最も希望が多いこと、また月1回にすると情報提供が遅れ、ページ数も増えて読みにくくなることから、今後も月2回の発行とする。

問11 「広報とよおか」についてのご意見・要望をお聞かせください。(掲載を希望される内容なども教えてください)

企画の提言

- ・「人間シリーズ(特別の技術を持つ人、職人、芸事にたけた人など)」を掲載してほしい
- ・中高生が市の未来を語るシリーズを作ったらどうか
- ・市民の声、生活環境などの意見投稿欄があったらよい
- ・市民が鞆の再興と市街地の活性化を一緒に考えていく特集・コーナーを作ってほしい
- ・歴史こぼれ話、メジャーでない歴史的建造物、史跡などを掲載してほしい

掲載内容の要望

- ・行事カレンダーに子どもの健診を載せてほしい
- ・市政ニュースを多くしてほしい
- ・イベント案内・生活に役立つ情報をより多く掲載してほしい
- ・災害時の避難場所・防災グッズなどの情報掲載をしてほしい
- ・スポーツ関連記事を増やしてほしい
- ・各地区・地域の情報を知りたい
- ・コウノトリに紙面を取りすぎる

その他

- ・専用ファイル、表紙を配布されたらどうか
- ・量が多いので、厳選して掲載してほしい
- ・内容も良く読みやすい、生活に役立つ
- ・読みやすい広報にしてほしい

【問11 結果のまとめ】

市広報紙について、提言を受けた事項は、現行のコーナーの見直しやシリーズ終了を機会として、掲載を考える。

〔掲載企画〕

「人間シリーズ」は、現行の市内で活躍する人間を紹介している「元気発信」を充実する形で提言を生かす。

「歴史こぼれ話・史跡」関連は、「市の歴史探訪(仮称)」シリーズとして、本市ゆかりの歴史的な人物や歴史遺産などを紹介していく。

市民の声などの企画は、「市民のお便り(仮称)」コーナー記事などを検討する。

〔掲載内容〕

市広報紙が今以上に増ページにならないようにすることを前提に、紙面配分、様式、時期を考慮し、要望を生かしていく。また、地域・地区情報は、すべてを掲載すると膨大な量になるため、公民館だより・地区回覧などによる情報提供と重複しないようにして、市広報紙に掲載する。

〔その他〕

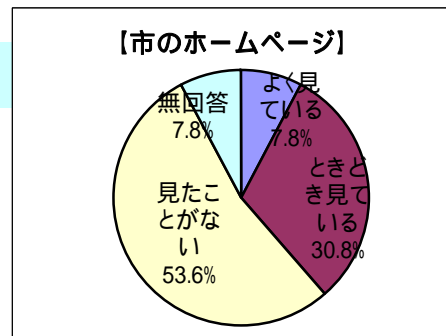
既掲載事項の掲載要望は、更なる充実を図る。

市民が興味を持つ記事・必要な記事を厳選し、分かりやすい表現・レイアウトを心がけ、読みやすい市広紙づくりに努める。

豊岡市ホームページについてお尋ねします

問12あなたは、市のホームページ「コウノトリの飛びまち 豊岡市へようこそ」を見えていますか。

| 選択項目 | 回答数 |
|----------|-----|
| よく見ている | 59 |
| ときどき見ている | 232 |
| 見たことがない | 403 |
| 無回答 | 59 |
| 合計 | 753 |

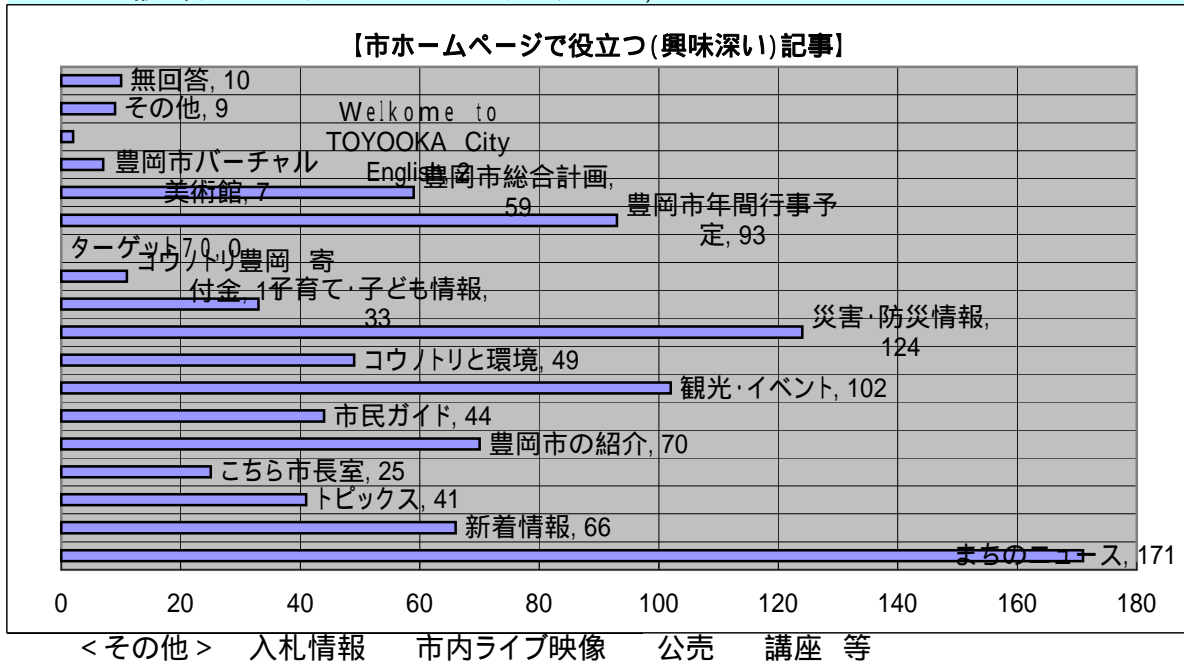


【問12 結果のまとめ】

約39%の人が市ホームページを見ていると回答されているが、見たことがない人も半数以上あるので、市広報紙等を使って、市のホームページをPRしていく。

ただし、市広報紙が届かない市民以外の人に限れば、HPを見る人は多いと考えている。

問13 あなたが、市のホームページの掲載記事で、役立つ(興味深い)記事はどれですか。(~ の該当するものすべてに をつけてください)



【問13 結果のまとめ】

ホームページで、最も役立つと回答されているのは、「まちのニュース」であり、日々の本市のできごとを情報提供しているコーナーが最も役立つと言われている。次いで、「災害・防災情報」、「観光・イベント情報」であり、求められている情報は、適時適正な情報を提供できるようにしていく。

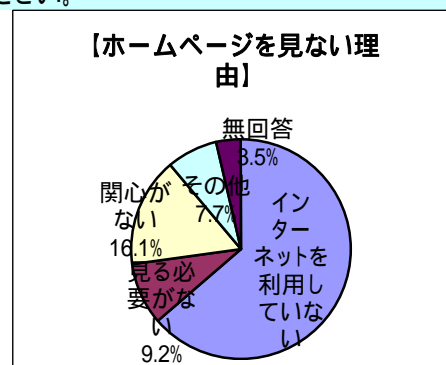
また、「市の紹介」や「新着情報」も役立つ(興味深い)と答える人が多い。特に「新着情報」は、市の動きを即時伝える手段であり、常に新鮮な情報を提供できるよう努める。

アンケート結果から、市政の骨格を知る「豊岡市総合計画」や、市の重点施策である「コウトリと環境」も関心が高いことが分かるので、今後もの確な情報提供を心がける。

問14 あなたが、市のホームページを見ない理由を教えてください。

| 選択項目 | 回答数 |
|-----------------|-----|
| インターネットを利用していない | 256 |
| 見る必要がない | 37 |
| 関心がない | 65 |
| その他 | 31 |
| 無回答 | 14 |
| 合計 | 403 |

＜その他＞
 パソコンがない 時間がない
 必要情報は広報紙で十分
 市ホームページがあることを知らなかった



【問14 結果のまとめ】

市のホームページを読まない理由は、「インターネットを利用していない」からと回答する人が約64%になっているが、回答者が比較的高年齢層である影響もあると考えられる。しかし、「関心がない」「見る必要がない」を合わせると約25%になっているので、魅力あるホームページづくりを心がけるとともに、ホームページには市広報紙に掲載されていない情報も掲載されていることなども伝え、PRに努める。

問15市のホームページについてのご意見・要望をお聞かせください。(掲載を希望される内容なども教えてください)

よくできている

見にくい。検索しにくい

広報紙に載らない情報があるならもっとアピールをするべき

子育て・こども情報を活用している(子育てセンターごとにイベントカレンダーがあり良い)

トップページがごちゃごちゃしている

面白みにかける。細かい事業・学校情報・商店情報等を入れたら親しみもてる。

見る人が参加できるホームページにしてほしい

各部課の事務紹介の場所がわかりにくい

市議会の議案や質疑応答を大きく掲載してほしい

以前に比べ見やすくなった

ありきたりでしょっちゅう見たいと思わない

市民以外への情報発信として必要

リンクの充実を図ってほしい

市の行事予定が見つけにくい

【問15 結果のまとめ】

ホームページは、市の情報を市民だけでなく全国へ発信するものであり、重要な広報媒体である。市のホームページに対する市民の意見は、「見にくい」、「検索しにくい」、「トップページがごちゃごちゃしている」などがあるので、今後トップページを含むデザイン・システムを考えていく。

【総括】

<市広報紙>

市広報紙は、回答者の約90%が市の情報を得る手段とされており、大きな責務を担っている。文字の大きさ、量、配付回数(月2回)、冊子タイプも現行が良いという意見が多数を占めているため、今後も現行どおりとする。

また、以下の事項に配慮した広報紙づくりを行うこととする。

市民提言企画は、現行のシリーズ・コーナーの更新に合わせて反映していく。

掲載内容への市民要望は、可能な範囲で生かしていく。

できるだけ平易なことば、表現を使い、レイアウトも工夫し、わかりやすい紙面づくりに努める。

現行のシリーズ・コーナー記事を見直す等、掲載記事を厳選し、掲載量の圧縮を心がける。

<市ホームページ>

ホームページのデザイン・システムを再考し、より良いホームページにしていくとともに、ホームページの特性(即時性、広報紙以上の情報掲載等)を十分PRし、市の情報発信機能の充実を図る。

<その他>

市役所内では、絶えず広報の通知を行っているが、市の広報に対する職員の意識にも部署によって差がある。よって、部または課単位での広報責任者の設置(HP担当責任者は設置済)を検討する。